

日本史籍講読5－Ⅳ

科目ナンバリング JPH-410
選択必修 2単位

宮川 麻紀

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、日本古代史の漢文史料を読解できるようになるため、奈良時代の歴史書『続日本紀』をテキストとして精読していく。受講者は2～3人ずつのグループに分かれ、『続日本紀』の書き下し文と現代語訳、語釈・人物説明を作る。目標としては、学期末に史料集を作ることである。なお、平安時代にまとめられた法令集『類聚三代格』も輪読する。

2. 授業の到達目標

- ①古代史料の読解力を習得する。
- ②日本古代史について幅広い知識を会得する。
- ③辞書や参考文献を用いて、自身の力で調べることができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)書き下し文・現代語訳・語釈および人物説明をきちんと作れるか 40%
- (2)史料の読解に関する小テスト3回 60%

4. 教科書・参考文献

教科書

黒板勝美 新訂増補国史大系『続日本紀』 吉川弘文館

参考文献

新日本古典文学大系『続日本紀』 岩波書店

5. 準備学修の内容

- ・参加者はあらかじめ、『続日本紀』の語句や人物について調べておく。
- ・分からない漢字や熟語は『大漢和辞典』や『日本国語大事典』で、歴史用語の意味や意義は『国史大辞典』で調べておく。
- ・テストに備えて、ノートを見直し復習する。

6. その他履修上の注意事項

日本古代史の基本的な知識は、『日本の時代史』や『大学でまなぶ日本の歴史』(いずれも吉川弘文館)などの通史の本から習得しておいてほしい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション
・『続日本紀』についての解説
・授業の進め方や評価方法の説明
・グループに分かれ、書き下し文と現代語訳を作る練習をする。 |
| 【第2回】 | 奈良時代についての論文などを読み、課題を行う[オンライン] |
| 【第3回】 | 『続日本紀』の書き下し文・現代語訳の作成
類聚三代格の読解 |
| 【第4回】 | 『続日本紀』の書き下し文・現代語訳の作成
類聚三代格の読解 |
| 【第5回】 | 『続日本紀』の書き下し文・現代語訳の作成
類聚三代格の読解 |
| 【第6回】 | 『続日本紀』の書き下し文・現代語訳の作成
類聚三代格の読解 |
| 【第7回】 | 小テスト(1) 第6回までの内容の確認テスト
『類聚三代格』の輪読 |
| 【第8回】 | 『続日本紀』の書き下し文・現代語訳の作成
類聚三代格の読解 |
| 【第9回】 | 『続日本紀』の書き下し文・現代語訳の作成
類聚三代格の読解 |
| 【第10回】 | 『続日本紀』の書き下し文・現代語訳の作成
類聚三代格の読解 |
| 【第11回】 | 小テスト(2) 第10回までの内容の確認テスト
類聚三代格の読解 |
| 【第12回】 | 『続日本紀』の書き下し文・現代語訳の作成
類聚三代格の読解 |
| 【第13回】 | 『続日本紀』の書き下し文・現代語訳の作成
類聚三代格の読解 |
| 【第14回】 | 『続日本紀』の書き下し文・現代語訳の作成
類聚三代格の読解 |
| 【第15回】 | 小テスト(3) 第14回までの内容の確認テスト
類聚三代格の読解 |